一問一答方式による一般質問

ゼロカーボンシティ

大村　晃一

問　ゼロカーボンシティやカーボンニュートラルについての見解を伺う。

市長　世界や国が定めている目標の実現に向けて、岩沼市としても進んで取り組むべきものと考えており、それを市の発展や市民の幸福にもつなげたいと考えています。

問　市長が公約に挙げる企業誘致にも、カーボンニュートラルやゼロカーボンに前向きな企業を誘致し、遊休地などの活用や地域活性化を行うことも検討してはどうか。

市長　民間企業の方が、先に取り組んでいる部分もたくさんありますので、企業誘致に対しては資する部分と思います。

非常用の電源供給場所を

問　市内の野立て太陽光発電所の所有者と連携を図り、災害などの停電時に、一時的な市民の非常用電源供給場所として活用できるような、取り組みを行ってはどうか。

総務部長　課題もありますが、非常時における一時利用の可能性について、事業者、設置者の皆さまと相談したいと考えています。

問　国の補助金などを活用して、電気の地産地消を目標に、自治体新電力への取り組みを考えてはどうか。

総務部長　社会情勢や電力市場を取り巻く情勢など、不安定な要素も一部では見られますので、自治体新電力に取り組むに当たっては、市としての課題解決に結びつくよう、さまざまな角度からしっかりと検討したいと考えています。

問　ゼロカーボンシティを宣言したのは菊地前市長だが、形にするのは佐藤市長の手腕が問われると思っている。他の自治体と比べたときに乗り遅れることがないよう、早めに情報を把握して、自治体新電力に限らずさまざまな国の補助金を活用して、取り組んでほしいと思うがどうか。

市長　いろいろな課題がありますが、ゼロカーボンシティへの取り組みという意味では大変有用な提案だと思います。今後も検討して形にできればと思います。

9月定例会の決算審査特別委員会

2月定例会では、次年度の予算を審査する予算審査特別委員会が設置されるのに対して、9月定例会では決算審査特別委員会を設置し、前年度の決算審査を行います。総務常任委員会・教育民生常任委員会・建設産経常任委員会を部会に切り替え、それぞれ所管する課の決算内容について担当部署から説明を受け慎重な審査をし、現地調査を行い確認をしました。主に総務部会では全ての歳入と議会費、総務費、消防費などに関する歳出、教育民生部会では、民生費、衛生費、教育費などに関する歳出、建設産経部会では、農林水産費、商工費、土木費、災害復旧費や上下水道に係る経費の歳出を審査しました。

部会	委員	主な審査項目	現地調査地
総務	佐藤　一郎 寒風澤敦司 布田　恵美 布田　一民	議会費 総務費 消防費 ※歳入の全部	・千貫分団機動部ポンプ置場新築（岩沼西コミュニティセンター） ・避難所備蓄品整備他（勤労者活動センター） ・給水管布設他（グリーンピア岩沼）
教育民生	沼田　健一 高梨　明美 酒井　信幸 渡辺ふさ子	民生費 衛生費 教育費 国民健康保険費 後期高齢者医療 介護保険事業費	・岩沼北中学校屋根修繕工事及び教材備品整備（岩沼北中学校） ・ひきこもりサポート事業（ＨＡＴＣＨ（ハッチ）いわぬま） ・文化財発掘調査事業（南長谷原地区）
建設産経	髙橋光孝 大村晃一 飯塚悦男 長田忠広 須藤　功 田村　宏	労働費 農林水産業費 商工費 土木費 災害復旧費 土地区画整理事業費 上下水道事業費	・阿武隈地区浸水対策工事 ・玉崎浄水場２号活性炭ろ過ポンプ改良工事 ・三色吉字竹倉部地内水路改良工事 ・鵜ヶ崎公園遊具更新業務